（第二版）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十年一月十日 木曜日 臺灣日日新報 （奈曜日）第一万二千四百九十二號 A 一（二）

臺灣新民の幸 ㊙ 夕刊定期配達 一月十日

三分二にも及ぶ地方長官大異動

十五日の閣議に上程される

後藤内相の大英斷

【東京十日發】後藤內相は地方官會議の招集せる全國を二分し新地を擇拔して兩内閣の地方長官の陣容を整備する事に決定し來る十五日の定例閣議に之れを諮り發令される筈となつた、而して内務自體で斷行の結果、人物を查定第二義的として新陳代謝の意味で百數十名の地方長官に對し後進の途を開かんとするに決し内相の同郷生と憚れて噂のある東京府知事安河内麗氏、大阪府知事塚原俊郎氏、京都府知事湯淺倉平氏、兵庫縣知事白根竹介氏、新潟縣知事千葉了氏の二府六縣知事に辭表を提出せしめる事に九日夜後藤内相は級數した依つて内相は九日夜來る十九日午前十一時迄に各地方長官の意見を徵し兩知事とも就任後數ヶ月の現任地に於ては時期の問題である、現在他方官の二分一位に及ぼす樣にて二の三知事に對しても正式に辭表を提出をもとめる事にならう、この外知事で辭任するものは數名に過ぎず、その後任には既に内務省の首脳部上の人物を物色中であるが、その顔觸れは略ぼ決定してゐるといふ

圓滿に進行中

生駒拓務省管理局長の內務畑入も考慮さる

【東京十日發】後藤內相以下内務當局は地方長官異動につき着々研究を進めつつあるので右異動は來る十五日乃至十八日の閣議において正式決定を見ることとなつたがその顔觸れは略ぼ次の如くなるといふ

海の參謀たちが意味ありげな新年宴會

二日午後一時半之

二日午後一時から日比谷の國際聯盟協會で新年宴會を開いたが、參謀本部、海軍軍令部、外務省、陸海軍省、大藏省、内務省、遞信省、拓務省、司法省、農林省、商工省、鐵道省の各局長、各部長、各課長、各參事官、各書記官、各屬官、各技師、各技手、各雇員、各傭人、各給仕、各小使、各運轉手、各小僧、各女中、各下女、各下男、各下婢、各下足番、各車夫、各馬丁、各馬糞拾ひ、各馬糞屋、各馬糞屋の小僧、各馬糞屋の女中、各馬糞屋の下男、各馬糞屋の下婢、各馬糞屋の下足番、各馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞拾ひ、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の小僧、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の女中、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下男、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下婢、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の下足番、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の車夫、各馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬糞屋の馬丁、各馬糞屋の

現場の要求撤回を
鐵道部三課長が說伏
全島各地に出張の序に

年來增加に增加して來た貨物は遂に鐵道部の能力を超過するに至つたので、これが緩和策として、鐵道部では、十一月一日から、全島各地に出張して、荷主側の要求を撤回するやう說伏することになつた、出張するのは、運輸課の三課長で、一日から、十日までに、全島を一巡する豫定である

何應欽北上

【南京十日發電通】南下中の何應欽は九日午後十時南京着津浦線で北上した、途中山西省の閻錫山を訪問するが何應欽の北平到着後一行八名が招じ午餐會を催した

愛知縣視察團を
野口知事が招待

野口愛北州知事は十日正午錦通ホテルに愛知縣參事會員視察團一行八名を招じ午餐會を催した

船內御警衛に當る
四氏門司へ

十七日御來島遊ばされる李王殿下御航海中の光榮ある船內御警衛に當る爲め井上北海長、岡田部長(前)、二河內務部外一名の都合一行四名は十一日夜明日丸で門司に向ふと

面談

となり、近く關係者の會議に參與した、而して關係者の間に於ては去年御用納め當日、野口(參與官)より「即め問題の提出を求めたところ、からず」との言明があつたと、傳へられ、一部關係者は特別會計に關する方面に運動を始めた

要求

して云々する問題と

體主の博念記

【東京十一日發】滿洲國皇帝陛下御誕辰二週年紀念日に當る九日の大同廣場に於ける慶祝會の計畫は、當日の參會者が一時に集つて來ては、非常な混雜を來すことが豫想されるので、これを緩和する爲め、參會者を三部に分ち、第一部は午前十時から、第二部は午後一時から、第三部は午後三時から、それぞれ入場することになつた、第一部は、滿洲國官民一萬二千人、第二部は、滿洲國官民一萬人、第三部は、滿洲國官民一萬人の大群衆が、

雪崩れ

られては大變だといふので、入場については各方面で早くも政府當局では此點警察から各會場に於ける本社構の橋岡公關主任、橋岡の三氏が會場の狀況に到る路線である、この點は女や子供も容易に踏られるために豫知配にする必要あり、公會堂裏から直ちに起される關係で高さは鋼鉄よりも强く鉄さんの鋼鉄もその下にしばらく辛抱して雨宿りして貰ふことになるらしい、又二線道路の樹木は全部拔き取つて一時他に移植するが終了後もと通りに復舊する會場は小南門で終らぬ場合には更に左折して凱司令部方面へも延びる計畫らしくこれ等の

地割は

四月から早々に取りかかるらしい、第二會場の新

第一會場
(公會堂から小南門まで)に
特色ある會場を集中
本社構の混雜を豫想して
公會堂裏から大陸橋を架設

【東京十一日發】滿洲國建國に對する日本朝野の熱誠なる援助に對する各種の答禮と我が國行政機關を兼ねて來朝した滿洲國民政部大臣臧式毅氏は滿鐵を經て十日午前七時十分首都民多數の盛んな歡迎裡に來京、驛長室に休憩した(寫眞臧大臣)

臧民政部大臣
けふ入京す
官民多數歡迎裡に

大川博士の發意で
神武會は愈よ解散
紀元節の創立記念日に

【寒十日發】我國右翼團體の中樞をなす神武會は來る二月十一日の紀元節の創立記念日に解散される筈であるが、保護出所後の身

あつたが其の目的を爲う得なかつたので茲に解散しようと思つてゐる、今後新しい團體を別に組織することは其の時期でもなく又私の力では不可能である

國語算術以外に
本年から國史も
學校に依り他の科目も增加
期日は三月廿五日から三日間

【寒十日發】滿洲國建國の精神をなす神武會は來る二月十一日の紀元節の創立記念日に解散される筈であるが、保護出所後の身

に近い山形縣酒田海岸で撮影中の會長大川博士は左の如く九日語る

神武會創立の本旨は國民運動に

在滿の軍人へ
可憐な慰問文
第二高女二年生が

【新京電話】新京第二高女二年生徒七十八名は受持の三浦先生の

中等學校
入試の
題問變更

【寒北州下中等學校入學試驗問題增加に就ては數年來當局間に問題となつてゐたが今回當局としては相當目的のある改善であると、國語讀方等は從來の通りで商人學校は期日は本年から三月二十五、二十六、二十七の三日に繰上げられる由

文部省練習船
下旬に來臺
練習生を乘せて

【基隆電話】全國商船學校の練習船は長岡丸が、驗員十四名、船員四十一名乘組みで昨年十一月二十日東京發、南洋クサイ島に直航、翌

福建省の全民軍を
中央の勢威下に統一
緩靖公署長會議を開く

【基隆電話】九月中旬發表された支部の練習船日本丸が、來る二十四日基隆に入港する筈通知があつた、練習生は航海科四十一名、船員は二、二八三噸九、四本マストのバーク型帆船機關付

滿支の郵便物は
十日から交換開始
滙送遞局は九日に成立

【北京九日發電】國民政府は

新春の新公園
(お晝の休みに女事務員の散歩)

日露役出征軍人の
生存者を調査
今年の記念日を下し
有意義な行事をなす爲

本年は、かの日露の役過ぎて二十年、而も今や國家非常の秋に直面してゐるので帝國在鄉軍人會では來る陸軍紀念日、海軍紀念日を下し、特に有意義なる行事を行ひ、計畫を立て、この程東京本部より全國的に指令を發したが、會員五千有餘を擁する臺北市聯合會では本島の特殊事情に鑑み、一層その必要に痛感して、大いにこの光榮ある當日を記念して內外の覺悟に備へふべく、九日後援行社に各分會幹事集會の上、先づこの資料を蒐集することが發表し、その第一着手として旧露戰役出征軍人の生存者を調査することとなつた、市內在住の該當者は至急申出て來る十三日迄に

大相撲
初日取組

【東京十日發】大日本相撲協會の春場所は來る十一日より十一日間國技館で行はれるが十日午前十時より觀かた土俵祭を行つて後勇ましく初日取組を市內に觸れ廻つた

△初日取組

(出羽嶽 玉の海 富の山)
(大八洲 七枝 十枝山)
(磐石 豚の里 九州山 太刀岩 海光山 吉野岩)
(加古川 浪石 出羽ノ浪 錦岩 大浪 綾昇)
(出羽花 大潮 桂川 旭ノ山 大邱山)
(能代潟 豊の浦 高砂 登山 双葉山 新海)
(幡瀬川 和歌嶽 男女川 巴 武藏山)
(清水川 鏑矢 玉錦 松前山)

臺北學生聯合
射擊會(十三日)

第二回臺北學生聯合射擊會は十三日午前九時から三部制(隊射、射撃場射撃)で擧行するが、參加學校は大學、高等學校に市內各中等學校全部で競會を催想されてゐる

三戸獨笑師の
全島巡講

【臺北州發】大正琴の元祖三戸獨笑師は十二年振りに來臺、十日より全島を巡講する事になつた、今回の巡講日程は十日夜より十二日夜迄基隆、翌十三日午前七時半、十四日は桃園、十五日は新竹、十六日は彰化、十七日は臺中、十八日は霧峰、十九日は臺中市內演藝場にて臺灣同胞慰安大演奏會を開催、廿日は嘉義、廿一日は臺南、廿二日は高雄の各東本願寺布教所にて臺灣二回講演、廿三日夜は市內文化村の東本願寺境內東布教所、廿四日夜より廿八日夜は東本願寺別院にて講演會

萬華青年團主
催の軟式野球

萬華青年團主催第三回軟式野球大會の申込所は來る十二日午前八時より老松公學校庭において擧行すると

香川縣人會
年末大會

香川縣人會では十一日午後四時より市內菱間カフエーボタンにて第六回定期總會並に會員懇親會を開催すると同時に會員名簿を調製する筈

臺北學生聯合
射撃會(十三日)

第二回臺北學生聯合射撃會は十三日午前九時から三部制(隊射、射撃場射撃)で擧行するが、參加學校は大學、高等學校に市內各中等學校全部で競會を催想されてゐる

大相撲
初日取組

【東京十日發】大日本相撲協會の春場所は來る十一日より十一日間國技館で行はれるが十日午前十時より觀かた土俵祭を行つて後勇ましく初日取組を市內に觸れ廻つた

△初日取組

(出羽嶽 玉の海 富の山)
(大八洲 七枝 十枝山)
(磐石 豚の里 九州山 太刀岩 海光山 吉野岩)
(加古川 浪石 出羽ノ浪 錦岩 大浪 綾昇)
(出羽花 大潮 桂川 旭ノ山 大邱山)
(能代潟 豊の浦 高砂 登山 双葉山 新海)
(幡瀬川 和歌嶽 男女川 巴 武藏山)
(清水川 鏑矢 玉錦 松前山)

船內御警衛に當る
四氏門司へ

十七日御來島遊ばされる李王殿下御航海中の光榮ある船內御警衛に當る爲め井上北海長、岡田部長(前)、二河內務部外一名の都合一行四名は十一日夜明日丸で門司に向ふと

何應欽北上

【南京十日發電通】南下中の何應欽は九日午後十時南京着津浦線で北上した、途中山西省の閻錫山を訪問するが何應欽の北平到着後一行八名が招じ午餐會を催した

愛知縣視察團を
野口知事が招待

野口愛北州知事は十日正午錦通ホテルに愛知縣參事會員視察團一行八名を招じ午餐會を催した

新竹の寫眞展覽會

【新竹電話】新竹州の年末大資出撰覽は十日午前八時より公會堂にて開會、午後四時より公會堂にて開會、午後四時より公會堂にて開會

新竹の窓飾競技會

【新竹電話】新竹商工會議所主催の年末大賣出しを機會に市內商店街の飾窓競技會は左記の如く決定各商店では夫々構想を練つつあり、主催側たる商工會議所でもすば抜けた成績を擧げんことに努力してゐる

△競技場所 一月十八日より開催

△賞金 一等一點九十圓、二等一點十四圓、三等一點十圓、四等四點五圓、佳作佳若干、審査委員五名、美術關係者の中等學校教員及び四百圓記者

新竹の圖書館週間

【新竹電話】新竹圖書館では十一月十日より開催の圖書館週間の入場者に記念しをりを贈呈する筈で新竹山中學校長の講演會を開催する筈

新竹の窓飾競技會

【新竹電話】新竹圖書館では十一月十日より開催の圖書館週間の入場者に記念しをりを贈呈する筈で新竹山中學校長の講演會を開催する筈

新竹の寫眞展覽

親鸞聖人（93）

吉川英治 作

山村耕花 畫

登岳篇

鳴らぬ鐘（五）

ひびのうちに耳に爽かつた。

「——ス　蓑笠に還したものは　八歳にして、

彼の眼のごとく、凡慮に入ることをゆるされた、

もう擬に入ることをゆるされた、後白河法皇の大恩をうけられたのも、たしか、お歳に成たぬうちであつた。各人のうちで、すでに白髪をたれ、老眼となりながら、また、その心地にこれぬ方があらば、まづ、自身の怠りからよい——ス　若冠な僧たちは、そんな他人のことに、関さうでて無益な時間をつぶす間になぜ、自身の修業を積まぬかと」

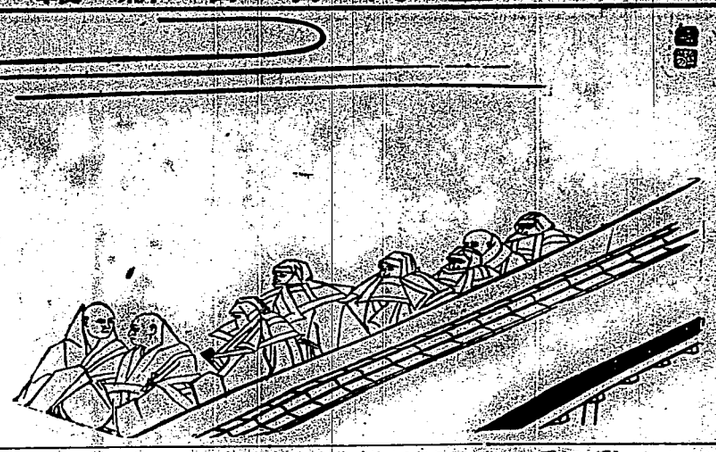
「……」

「ふたたび申すが、わしほ、ふかく釈尊の御言の天意を信じてをる同時にそれてをる。即して、現場のよろしさを得れば、梵天の悪魔に化すから知れず、その珠たる貴のみきにより、この荒びめた。

「いや、ようわかりました。」

初めは晩児の如く、終りは聖女のやうに、四王院がそこ〳〵壁をすべると、他の若い師たちも、氣まりわるげに、退散してしまつた

駅々と、人々は、盃面の酸をみてるばかりだつた。盃面の眉には、弟子として、また一箇の人間、範宴のゆくすゑや、範宴の性格や才や、あらゆる些細なものまでを朝夕の眼にとめて、ふかく、この精業を念じてゐる容子が歴々と語



建設の人々

久米正雄の原作を映畫化した第一回作品で、映畫システムによるオールトーキーである。主演は鈴木傳明、中野英治、戸田一郎、夏川大二郎、山田五十鈴の五大スターで、文字通りの顔觸な豪演。その裏面記錄はいづれが採用されるか注目されてゐるが、愛知縣北方面の手に移り近く同縣にて初上映されることになつた。

佛ヴアンドール映畫 ドン・キホーテ

シヤリアピン主演

世界中で映畫の次に多く讀まれてゐるといふスペインの文豪セルヴアンテスの「ドン・キホーテ」の映畫化で、「ドン・キホーテ」には、ロシアの生んだ世界的大歌手ふたりの役を演じ、歌つて居るシヤリアピンが扮じて十減し「三文オペラ」「戰旗」「アトランテイド」のG・W・パスト」が監督したもの。脚色には「フランス文壇の利者ベール・モーランが、同じくアレキサンドル・アルヌーが當同を熱演してゐる。作曲には佛國映畫界の新鋭ヤック・イベールが映畫のために書きおろした外、ダルミスキイのフエラ・ホヴアダ」も使はれてゐる

撮影は昨年「ラ・バタイユ」「戰旗」のため渡國した歌劇の名手ニコラス・アルカス、監督は「ハンドラの鞭」「モナ・リザの失脚」のアンドレエ・アンドレエがそれぞれ擔當してゐる外「アメット王子の冒險」「モンアルトの幻想」のロツラ・ライニガア女の仕事も使はれてゐるシアリアピンの外に俳優では舞臺で人氣のドルヴィル劇團のアルレツト・マルシヤル、新進女優ミレエユ・バラン、ルネ・ヴアリエ、映畫、マティ・ベリー・シヤルル・レヂニエ等が出演してゐる十日より臺北新世界館上映

△梗概

西班牙ラ・マンチヤに住む老貴族ドン・キホーテは騎士の小說にすつかり夢中になつてゐた。彼に

なぜなら風車の一つの羽が、彼を上から引きさらつて空中に投げつけたからだ。打ちくだかれ疲れ果てたこの老騎士は苦の住家へ連れ帰られた。そして、彼を狂氣にまで引揃つて行た騎士の小說が、燒き棄てられる前で、最期の息を引き取るのであつた

（寫眞はシヤリアピンのドン・キホーテ）

あちらの話

メトロ社北極映畫「エスキモー」に主演したマーラは再びメトロ社と契約、今度は南海映畫「タイピ

に闘ふ人間や、龍が總げられてゐるドン・のキホーテはそれ等人々を救ふ騎士でなければならないのである——

或る夜、巨人と若き騎士の激しい闘ひを目の邊り、彼は兄だ。彼は正義の騎士である。若者に力を借して、巨人を打ち倒した騎士の位を授けられる。本當を云ふと、これは旅廻りの役者の演じる空想だつたのだつた。ドン・キホーテは傍輿として觀客の喝采を貰つたに過ぎない。

しかし、騎士ドン・キホーテは前進する。駄馬ロシナンテに打ちまたがり、忠實な僕のサンチヨを從者に自ら名つけて、巨萬の冨勞、開ほねばならぬ「名馬二ロシナンテに纏つて強敵の眞

昭和九年度臺日聯合對抗囲碁大會

一四點　津田加藤連　△無帶

△點　關關鍋　白　九鬼佛　九靜芳

毛三　可升　七　乃富美　六　松商

咒四　貞照　六　お三輪　六　一步

優芳二　六　美津連　六　義春

三　李君德　六　ひつ子　六　鈴子　六　眠香

三　一笑　六　全子　六　古泉

五　邦坊　三　かもめ　五　非熊　六　靜香

六　秀子　六　雀子　五　みさ子　五　春香

三　お輕　二星一　ナナ子　五　一飯　五　うしほ

三　いとし　二　六根　二　かおる

二　明春　九

右最高點者津田加藤連子に本社の金メダルを、次點者關谷關鍋子に銀メダルを贈呈す、森無帶

名家敗退將棋（其十）

（山北氏一回勝二人目）

香落　六段　△山北孫三郎

四段　▲鈴木禎一

▲鈴木氏（持駒）歩歩金

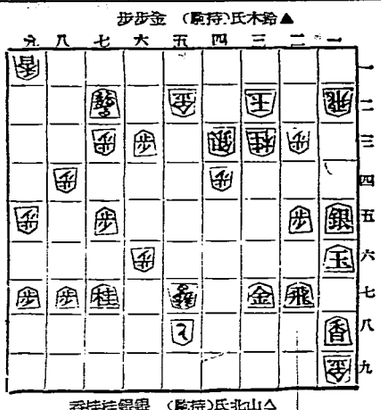
△山北氏（持駒）銀銀香桂桂香

（盤は前回指了後の局面）

▲▲一五飛△同玉▲一四歩△同玉▲一三歩△一五玉▲一四銀△六玉▲二五金△一七玉▲三九馬△二八香▲二五桂迄にて鈴木氏の勝

▲鈴木四段曰く　二五桂で読んで同飛なれば同銀と逃んだ筈にて一二飛とされたれば二三で元分となりました惜しい將棋で大分苦しめられました

◇大崎八段講評　本局は終始一貫攻撃の多い將棋であつた様に山北君が早く五六歩と突いたのの如きに鈴木君の方で八八角ナリと受



▲▲▲

臺灣臨時利得稅 計上於來年度豫算

對事業無差別課稅

昭和十年度ニ於ケル臨時利得稅ノ新設ニ關シテハ既ニ屢〻當局ノ言明スル所ニシテ其ノ實施

臺灣日日新報

日本人行政發賣網
若槻・野・前・人行政發賣網
岡崎市北益・所行政
此報・新・日・日・臺臺
十一・八・一・一
二・一五・一・一
（普通郵便）（圖書特別郵便）（圖書特別郵便）（廣告料）
發行所
東京市小石川區音羽町二丁目十九番地（振替東京二九二〇番）
日本人夕刊共六十頁

日本雄辯會講談社

書店に品切れの節は直接本社へ御注文下さい。猶申込次第出版目錄無代進呈します

圖書館推薦及び認定 臺灣教育會

（●印は推薦 ▲印は認定）

名記問題書續出！

●父と子　池田宣政先生著　定價・五〇　送料・一〇

●榮えゆく道　野間清治著　定價・五〇　送料・〇八

▲大陸非常線　山中峯太郎先生著　定價・三〇　送料・四

●動物物語　大島正滿先生著　定價・三〇　送料・一二

▲征空一萬三千粁　熊川良太郎先生著　定價・三〇　送料・四

●武藤山治百話　故武藤山治先生著　定價・三〇　送料・一二

●日本國民に遺言す　茅原華山先生著　定價・一〇　送料・〇

●世界十傑傳　澤田謙先生著　定價・三〇　送料・一二

●ルーズベルト　大江專一先生著　定價・三〇　送料・一二

●二宮尊德　武者小路實篤先生著　定價・一〇　送料・〇

●大石良雄　武者小路實篤先生著　定價・一〇　送料・〇

●子　鶴見祐輔先生著　定價・八〇　送料・四

●海豹の如く　賀川豐彥先生著　定價・三〇　送料・〇八

●一粒の麥　賀川豐彥先生著　定價・三〇　送料・〇八

▲少女百面相　佐々木邦先生著　定價・八〇　送料・一二

▲小太郎と小百合　楠山正雄先生著　定價・一〇　送料・一二

▲萬歲栗毛　土師清二先生著　定價・八〇　送料・〇

▲麗はしき母　佐藤紅綠先生著　定價・八〇　送料・〇

▲日本イソップ繪物語　村岡花子先生著　定價・三〇　送料・一二

▲少年探偵　謎の暗號　森下雨村先生著　定價・八〇　送料・一〇

▲ユーモア艦隊　サトウ・ハチロー先生著　定價・三〇　送料・四二

▲萬國の王城　山中峯太郎先生著　定價・九〇　送料・一二

▲村の少年團　佐々木邦先生著　定價・九〇　送料・一二

▲叫ぶる密林　南洋一郎先生著　定價・八〇　送料・一〇

▲陸奥の嵐　千葉省三先生著　定價・八〇　送料・一〇

▲リンカーン物語　池田宣政先生著　定價・三〇　送料・一二

▲征空一萬三千粁　熊川良太郎先生著　定價・三〇　送料・四

▲日本國民に遺言す　茅原華山先生著　定價・一〇　送料・〇

▲世界十傑傳　澤田謙先生著　定價・三〇　送料・一二

▲武藤山治百話　故武藤山治先生著　定價・三〇　送料・一二

●榮えゆく道　野間清治著　定價・五〇　送料・〇八

▲大陸非常線　山中峯太郎先生著　定價・三〇　送料・四

●父と子　池田宣政先生著　定價・五〇　送料・一〇

東京文理科大學　名渓會推薦

何れも素晴らしい好評を博してゐる出版界の驚異です

少年少女大人の狂熱の讀み物

——お年玉に贈り物りに贈らなければ喜ず必らなれこに玉年お——

平田晉策先生著	われ等若し戰はば	一・五〇	送料・四
山中峯太郎先生著	敵中横斷三百里	一・三〇	送料・四
八波則吉先生著	少年模範文	・八〇	
佐々木邦先生著	苦心の學友	一・三〇	
佐々木邦先生著	全權先生	一・三〇	
佐藤紅綠先生著	少年聯盟	・八〇	
大佛次郎先生著	日本人オイン	一・三〇	送料・四
横山美智子先生著	嵐の小夜曲	一・三〇	
加藤武雄先生著	海に立つ虹	一・三〇	
北川千代先生著	絹糸の草履	一・三〇	
宇野浩二先生著	花の首輪	一・三〇	
田河水泡先生著	のらくろ伍長	一・〇〇	
中田千畝先生著	キチキチ小僧漫遊記	一・三〇	
田河水泡先生著	漫畫常設館	一・三〇	
田河水泡先生著	漫畫の罐詰	一・二〇	

囲碁棋譜年鑑

昭和拾年版

出た！

棋界待望の書

昭和九年春秋二期の棋院大手合の棋譜と本因坊吳清源の模範的實戰棋譜を始め著名手合の對局棋譜四百局を網羅する四六倍判五百頁の大偉觀！

春秋の大手合は棋士の浮沈に拘る血戰である。その血のにじみ出るような棋譜が盛られた大記錄！

棋士唯一の登龍門たる日本棋院春秋二回の大手合の棋譜全部を收錄し、新布石法。舊布石法。綜合的超新布石法。天元。星。三々。五の五。三連星等の實戰記錄を寫し、大手合に現れたる新進と元老、新法と舊法との火を吐く如き大布石陣から現代棋界の俊才の血みどろの血戰譜全部が一局一頁打著順の明記されたる大圖版である。尚昭和九年度棋界總覽は堂々たる興味の讀物にして・各月別に記述され、特に昭和九年の棋界の革命的飛躍たる新布石法の出現を記錄した愛棋家の必讀のものである。

附錄・圍棋略史　現代棋界の手合割表・對局者の現住所及び氏名・棋士名鑑・日本の棋客の氏名・全分明ならしむる其他棋界に關する諸般の重要事項を記入

段級人名錄

新春何を措いても此一冊

大手合棋譜發行權本社に來る！

四六倍判約五百頁全部單式オフセット高級印刷！

東京市日本橋吳服橋

定價　一圓八十錢

本日全國發賣！

振替東京二九六三九

平凡社

無線と實驗

新年號

磯石式からスーパーまで

昭和十年の年頭に際して短波及スーパーの受信機

短波のフーディングとその對策

オールウェーブ・スーパーの設計と作り方

スーパーの單一調整に就いて

無線工學の基礎知識

無線抵抗一四五の基礎講座

ラヂオ回路の發展

特別大增頁を以て贈る

增頁特別大附錄

ラヂオ技術の基礎講座

短波の發明から現在迄

短波に於ける天地自然の現象

ラヂオ回路に必要な抵抗器の知識

マグネトロン超短波發振管

超短波受信機の製作

英和無線大事典

初級無線基礎實驗講座

アンテナは語る

五球スーパーニュー型受信機

改良せる磯石セット

B・Gペントードセット

アンプ・チューナーの組合セット

電池式卓球セットの作り方

ダイヤルのアンテナ目盛の作り方

別冊附錄　無線と實驗ラヂオ問題集

高瀨・海老澤・川野・伊藤・茨木・杉山の諸氏分擔・約二百の適切なる質問に對する明快なる解答集（四六倍判八十頁）

本文附錄

一、標準短波回路集　四種

二、新らしいラヂオ配線圖集　十七種

三、懸賞製作記事（一部からカットまで）　八題

定價二圓（附錄共）金一圓（送料八錢）全國書店にあり

實際園藝

新年特輯・趣味の小温室園藝

原色菊花圖譜

最新刊・大好評

東洋蔬菜と西洋蔬菜

その葉！その色！實物そのまゝを現した精巧無比！一目で品名がわかる原色版印刷！

實際園藝臨時增刊・最新刊好評

大日本花卉植木業組合聯合會員同盟會員

問屋・消費者から生產者へ　實際園藝座談會錄

促成蔬菜座談會

竹の話　農學士　牧野富太郎

菊場衛生の諸問題　菊花と病害蟲　堀内　貞吉

有益細菌の利用　千葉園藝學校教諭　堀　正太郎

花梅の盆養法　玉野　宏七

新年特輯・趣味の小温室園藝

實際園藝

原色菊花圖譜

東洋蔬菜と西洋蔬菜

本書說明書出來

御申越次第進呈

定價　金五圓

特價三圓八十錢

東京市神田區三崎町三ノ三

文成閣

圖書館施設の統制と充實

第四回圖書館週間に當りて

第四回圖書館週間は今日から實施されるが、申すまでもなく一般の圖書館思想を喚起し圖書館の使命の認識と既設圖書館の利用を促進して、併せて良書の紹介、普及を圖るのが其の使命であり、目的であらうが、從來其の效果は著々現れてゐるが、全體公立圖書館利用者數に於ても圖書の貸出數に於ても昭和六年度には總數百四萬のものが、昭和八年度には其の八十八萬に達してゐるやうに殖々の喜ぶべき現象であるが、さて其の利用の實際、圖書館の施設に就いては滿足なものが少なくない。此の點に於て當局者は勿論、一般世人の生活を味はする必要を痛感するものである。

二

圖書館の施設に至つて近年相當の發展を見せぬ。それは學校教育と相俟つてこと玆に到つて國民教育の任務を果すものであると共に又一定の制度に準した文化人の生活には缺くべからざる必要條件を有する施設である。滿洲に學校教育の普及といふ點に於いては滿洲の開發上、相當價値があるのであつて、從つて圖書館の使命といふものが益〻重要性を加へつゝあるといふもよく、又精神の研究上に於て文獻の資料を得ずしては、特に圖書館の力に俟たなければならぬ。從て圖書館の使命といふものが益〻重要性を加へつゝあるといふもよく、又精神の研究上に於て文獻の資料を得ずしては、特に圖書館の力に俟たなければならぬ。從て圖書館の使命といふものが益〻重要性を加へつゝあるといふもよく、又精神の研究上に於て文獻の資料を得ずしては、特に圖書館の力に俟たなければならぬ。

圖書館の施設に至つて近年相當の發展を見せぬ。それは學校教育と相俟つてこと玆に到つて國民教育の任務を果すものであると共に又一定の制度に準した文化人の生活には缺くべからざる必要條件を有する施設である。滿洲に學校教育の普及といふ點に於いては滿洲の開發上、相當價値があるのであつて、從つて

李王垠殿下奉迎彙報

高雄州、市の奉迎委員發表
蕃人踊を台覽に供する

【高雄電話】來る二十五日午後一時頃殿下の御成を仰ぎ同日及び二十六、二十七日の三日間に亙り御在港の光榮に浴する高雄州、市各當局では夫々奉迎準備を進めてゐたが十日新聞紙上發表の如く奉迎の御内容、並に御催し物竝上陸等を發表した

△高雄州奉迎委員　委員長内海知事、委員長代理警察部長、委員高雄市尾山文壽市長、委員警察部長谷内新部長、委員警察部長岡山文壽市長、委員警察部長代理警務課長、委員警察部高等課長、委員警察部保安課長、委員警察部衛生課長、委員警察部特別高等課長、委員警察部警務課長、委員警察部司法課長、委員警察部交通

哭くな、青春

(94)

三上於菟吉　吉邨二郎畫

事務所でその二)

そうきは、みひらいた目で、車内をうかがった。河田は、例の、あけっぱなしな顔で、そうきに言いかけるのだった。

「実はね、今日、すばらしいプランがはいったのだよ、君に、是非やりたいのだが――」

「何でせう？」

そうきは、急に緊張する自分になった。

河田は、笑はなかった――彼は、東京朝日新聞社会部の、相当敏腕な商人記者として、平生はフラノラしているやうでも、いざ、仕事となると、ビーン緊張して来るのだった。

「六かしいことぢゃない――君の聴聞を――すこぶる楽しい聴聞なんですよ。」

「まあ！わたしに聴聞？」

と、言ったが、彼女の口元は、明らかに綻びつた。

「そんなこと、あるはずがないぢやありませんか？」

「いいえ、僕は全然聴聞なしことは一ほとんど聞といものでもないのだが――例の鎌倉の先生に関する事件なんかね？」

「あゝ、では、多分、畑田先生とわたしの――」

「おゝと、さうきは、笑はうとした。それ位の勇気がなければ、緊張性な事に感動するものではないと、いつか自己はじめてゐたのだ。

「へゝゝ、さう～、畑田さんとのことですよ。」

と、河田は、じつとさうきをみつめて、

「どこまで誤解なんですか？君が正直に言つてくれれば、僕は新聞に書かなくてもいいのだが――そこに例のかたね。」

「いゝえ、ゆつくりお話しします わ」

さうきは、百足も、脊足もせず、さう言つて、早くこの場をはづして、新聞記者を、へて見たかつた。ふるい笑談だれにも、かしがくにして置かねばならぬ真実な記事があゝもく、ジャーナリズムの世界にまで流れてしまつたのを知つて、激しい苦痛に打たれるを得なかつた。

彼女は、しかし、出来るだけ、落ちつかねばならない。

「わたし、いろ～もつとお話ししたいこともありますの。」

すると、そのとき、けい子が、かたわらから、大きなこゑで言ひ出した。

「もうぢんた、そんなこといふ加減にしたらいいやあないの？」

河田は、かへりみた。

「こんな夜中の道で、新聞のことなんぞかれこれいはずともいいおやないの？他人が、どんないいことをしたつて、しないつて、そんなこと、勘定に病むものやないことよ――」

そして、彼女は、窓から頭を突き出すやうにして、

「こないだは、御馳走さま――」

「まあー」

けい子を見出したことは、更に新らしいおどろきをさうきにあたへたらしかつた。

「あたし、御馳走してゐますのよ。あなた、御馳切な方れ――さあ、運転手さん、車を出して頂戴よ」

河田は、さうきの方を――つまり農業の方を思ひ切つたやうに、帽子を取つた。

車は、安静なさうきをあとにのこして走り出した。

二

日本の議会、しかし、非常時は勿論その国際環境と規模とするものだが、それはまたドイツの比にへ非ず何となれば、ドイツは国人民中の堂々たる一党派だけに過ぎない。吾人は、日本の非常時を打開するために、白人支配下に立つ国際環境を知るの必要がある。極東国際環境の一部たる日本の非常時を打開するためには、歴史を知るの必要がある。極東国際的に重要を極めたる問題の一部として、此の時局が、どうなるかを知つて戦はねば勇の意味がない。白三八のノビ三二九の押しなど眼々相摩す大接戦、一歩も退けぬところである。

黒二七で、その一六に八を出したのは、筆者の見る所だが、以下白四四黒二つの十一白その十二黒二つの十五の時、白れの九と進出され、黒三三に勢を取り攻いて一つの十三に打設いた所で、此の眼が後手一眼なのだから問題にならない。その上白には左上急で活きられる、白四二で四三にノビたいが黒二つの十六と受がして中央の五子が等々なる譲の肩打ちには黒四五二九の様々の静同と術策が含まれて居るので、村田四段と好個の一戦であらう、新進と老巧との好取組、四つ角力の妙味が面味出来る事であらう、黒九まで新布石には白四の五子、黒九まで白十と受けて十六と下つたなども、黒十七と下つて攻撃を開始したが、黒三三に次いで猛烈な白三四と受けるのでは、あるまいか

戦評　白二六の押しで二五と安全第一主義にするやうな事では黒二六と押されて問題にならない此際にかく手強く打たねばならぬ所だ黒二七の切りも騎虎の勢ひ、どうなるかも知つて戦はねば男の意地がすたない。白二八のノビ黒二九の押しなど眼々相摩す大接戦、一歩も退けぬところである。

黒二七で、その一六に八を出したのは、筆者の見る所だが、以下白四四黒二つの十一白その十二黒二つの十五の時、白れの九と進出され、黒三三に勢を取り攻いて一つの十三に打設いた所で、此の眼が後手一眼なのだから問題にならない。その上白には左上急で活きられる、白四二で四三にノビたいが黒二つの十六と受がして中央の五子が等々なる譲の肩打ちには黒四五二九の様々の静同と術策が含まれて居るので、村田四段と好個の一戦であらう、新進と老巧との好取組、四つ角力の妙味が面味出来る事であらう、黒九まで新布石には白四の五子、黒九まで白十と受けて十六と下つたなども、黒十七と下つて攻撃を開始したが、黒三三に次いで猛烈な白三四と受けるのでは、あるまいか

危機に對する日本國民の覺悟

あらゆる機構を再認識せよ

早大教授　杉森孝次郎

日本の非常時は、殊に歴史的、その国際環境を規模とするものである。何となれば、日本の場合、そこには人種主義の問題がある。白人支配下に立つ国民主義もしくは民族主義は、今日の世界の全面的非常時を構成する最大規模だ。その構成の一はドイツにある。ドイツを見よ。彼は白人列強中、比較的に遅れて登場せるものである。ドイツの工業立国主義は十九世紀後半も、その半ばに達した後の事だ。その以前のドイツは農業主義のものであつた。その工業立国を新国策とするドイツは必然的にその必要なる海軍の設備及び大陸進出に着手した。一九一四年勃発に及んで惹起せる戦争はその独英対立の問題する限りここにその遠因をもつ。

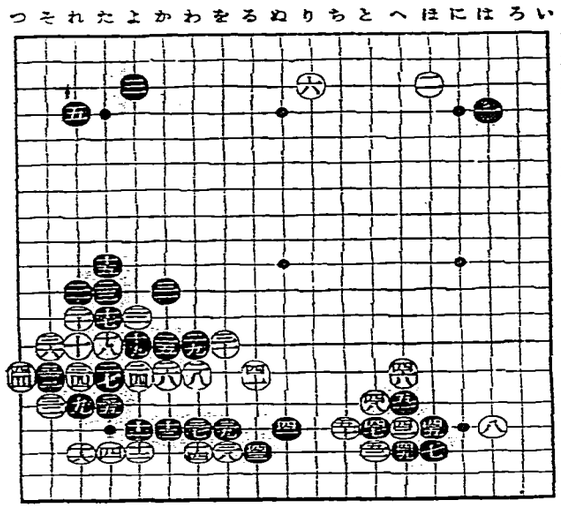
そのドイツは今日、国際的に八方塞がりの観がある。オーストリアに伸びることすら困難だ。イデオロギーの如きものは、眼前焦眉の急利害のためには、物の数にも非ず。ヒトラーも、最近ではムソリニの同志とのみは言はれない。ファシズムの理論よりもナショナリズムの勢力の方が有力であるのだ。否、そのファシズムそのものがその戦争勃発してゐるに等しいだ。吾人は、且つ、世界を通じてナショナリズムの勢ひの如何に潜勢的なるかをここにも再認すべきのみ。

ヒトラーのドイツの擡頭は、露骨的に撰主義のたゝこゝにもイデオロギーよりもナショナリズムの方が有力であるの一証がある。パリ市だけにでも、自家人のためのロシヤ語の新聞が沼を開する程に係在するの事実の前に、これは一つの史的だ。

二

日本の場合、しかし、非常時は勿論その国際環境と規模とするものだが、最大規模とするものがそれはまたドイツの比にへ非ず何となれば、ドイツは白人支配中の堂々たる一党派だけに過ぎない。吾人は、日本の非常時を打開するために、白人支配下に立つ国際環境を知るの必要がある。極東国際環境の一部たる日本の非常時を打開するためには、歴史を知るの必要がある。極東国際的に重要を極めたる問題の一部として、此の時局が、どうなるかを知つて戦はねば勇の意味がない。白三八のノビ三二九の押しなど眼々相摩す大接戦、一歩も退けぬところである。

黒二七で、その一六に八を出したのは、筆者の見る所だが、以下白四四黒二つの十一白その十二黒二つの十五の時、白れの九と進出され、黒三三に勢を取り攻いて一つの十三に打設いた所で、此の眼が後手一眼なのだから問題にならない。その上白には左上急で活きられる、白四二で四三にノビたいが黒二つの十六と受がして中央の五子が等々なる譲の肩打ちには黒四五二九の様々の静同と術策が含まれて居るので、村田四段と好個の一戦であらう、新進と老巧との好取組、四つ角力の妙味が面味出来る事であらう、黒九まで新布石には白四の五子、黒九まで白十と受けて十六と下つたなども、黒十七と下つて攻撃を開始したが、黒三三に次いで猛烈な白三四と受けるのでは、あるまいか



日本棋院　秋季大手合戰譜

（第四局の二）

先相先　先番　三段　村田整弘　四段　島村利博

所要時間　黒三時間　白二時間三十分

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ体操　今日のお天気のお知らせ　東北農林省観測所発表

【一〇・一〇】家庭料理献立と栄養　第一高女金子カネ女史　八年振の「トマト」登場眼（ケイガン）

【一一・〇〇】日劇小唄小夏雪景　日劇ダンシングチーム　実況中継　宮城前より

【一二・〇〇】農業報告（但九・五五の経済市況の放送ある時は中止します）

【一二・〇一】気象通報　東京気象台報

【一二・〇二】日劇小唄小夏雪景　日劇ダンシングチーム　実況中継　宮城前より

【一二・〇三】時報　東京

【一二・〇四】ラヂオ体操　第一　第二女子ラヂオ体操　八年振の「トマト」登場（ケイガン）

【一二・〇五】時報　東京

【一二・〇六】日劇小唄小夏雪景　日劇ダンシングチーム　実況中継　宮城前より

【一二・〇七】時報　東京

【一二・〇八】時報　東京

【一二・〇九】時報　東京

【一二・一〇】時報　東京

【一二・一一】時報　東京

【一二・一二】時報　東京

【一二・一三】時報　東京

【一二・一四】時報　東京

【一二・一五】時報　東京

【一二・一六】時報　東京

【一二・一七】時報　東京

【一二・一八】時報　東京

【一二・一九】正午の時報、気象通報、経北の少し、東京朝日新聞社

【一二・二〇】放送局報、ニュース

【一二・二〇】番間経業時間（レコード演奏）、ラヂオ体操ナップスほどどきざ、ラヂオ体操ナップスほど

【一二・二〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・三〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・四〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・五〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・六〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・七〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・八〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・九〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一一】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一二】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一三】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一四】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一五】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一六】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一七】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一八】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一九】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二一】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二二】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二三】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二四】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二五】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二六】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二七】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二八】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二九】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・三〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・三一】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

午後の部

【一二・一九】正午の時報、気象通報、経北の少し、東京朝日新聞社

【一二・二〇】放送局報、ニュース

【一二・二〇】番間経業時間（レコード演奏）、ラヂオ体操ナップスほどどきざ、ラヂオ体操ナップスほど

【一二・二〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・三〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・四〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・五〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・六〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・七〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・八〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・九〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一一】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一二】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一三】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一四】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一五】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一六】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一七】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一八】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・一九】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二一】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二二】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二三】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二四】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二五】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二六】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二七】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二八】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・二九】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・三〇】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

【一二・三一】講演　東京）海軍軍縮本会議関係の年を迎へて…海軍大将竹下勇

夜間の部

【五・〇〇】子供の時間（東京）像

【一・〇〇】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇一】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇二】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇三】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇四】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇五】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇六】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇七】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇八】気象通報（気象庁のみ）

【一・〇九】気象通報（気象庁のみ）

【一・一〇】気象通報（気象庁のみ）

【一・一一】気象通報（気象庁のみ）

【一・一二】気象通報（気象庁のみ）

【一・一三】気象通報（気象庁のみ）

【一・一四】気象通報（気象庁のみ）

【一・一五】気象通報（気象庁のみ）

【一・一六】気象通報（気象庁のみ）

【一・一七】気象通報（気象庁のみ）

【一・一八】気象通報（気象庁のみ）

【一・一九】気象通報（気象庁のみ）

【一・二〇】気象通報（気象庁のみ）

【一・二一】気象通報（気象庁のみ）

【一・二二】気象通報（気象庁のみ）

【一・二三】気象通報（気象庁のみ）

【一・二四】気象通報（気象庁のみ）

【一・二五】気象通報（気象庁のみ）

【一・二六】気象通報（気象庁のみ）

【一・二七】気象通報（気象庁のみ）

【一・二八】気象通報（気象庁のみ）

【一・二九】気象通報（気象庁のみ）

【一・三〇】気象通報（気象庁のみ）

【一・三一】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇〇】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇一】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇二】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇三】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇四】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇五】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇六】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇七】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇八】気象通報（気象庁のみ）

【二・〇九】気象通報（気象庁のみ）

【二・一〇】気象通報（気象庁のみ）

【二・一一】気象通報（気象庁のみ）

【二・一二】気象通報（気象庁のみ）

【二・一三】気象通報（気象庁のみ）

【二・一四】気象通報（気象庁のみ）

【二・一五】気象通報（気象庁のみ）

【二・一六】気象通報（気象庁のみ）

【二・一七】気象通報（気象庁のみ）

【二・一八】気象通報（気象庁のみ）

【二・一九】気象通報（気象庁のみ）

【二・二〇】気象通報（気象庁のみ）

【二・二一】気象通報（気象庁のみ）

【二・二二】気象通報（気象庁のみ）

【二・二三】気象通報（気象庁のみ）

【二・二四】気象通報（気象庁のみ）

【二・二五】気象通報（気象庁のみ）

【二・二六】気象通報（気象庁のみ）

【二・二七】気象通報（気象庁のみ）

【二・二八】気象通報（気象庁のみ）

【二・二九】気象通報（気象庁のみ）

【二・三〇】気象通報（気象庁のみ）

【二・三一】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇〇】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇一】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇二】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇三】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇四】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇五】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇六】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇七】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇八】気象通報（気象庁のみ）

【三・〇九】気象通報（気象庁のみ）

【三・一〇】気象通報（気象庁のみ）

【三・一一】気象通報（気象庁のみ）

【三・一二】気象通報（気象庁のみ）

【三・一三】気象通報（気象庁のみ）

【三・一四】気象通報（気象庁のみ）

【三・一五】気象通報（気象庁のみ）

【三・一六】気象通報（気象庁のみ）

【三・一七】気象通報（気象庁のみ）

【三・一八】気象通報（気象庁のみ）

【三・一九】気象通報（気象庁のみ）

【三・二〇】気象通報（気象庁のみ）

【三・二一】気象通報（気象庁のみ）

【三・二二】気象通報（気象庁のみ）

【三・二三】気象通報（気象庁のみ）

【三・二四】気象通報（気象庁のみ）

【三・二五】気象通報（気象庁のみ）

【三・二六】気象通報（気象庁のみ）

【三・二七】気象通報（気象庁のみ）

【三・二八】気象通報（気象庁のみ）

【三・二九】気象通報（気象庁のみ）

【三・三〇】気象通報（気象庁のみ）

【三・三一】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇〇】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇一】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇二】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇三】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇四】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇五】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇六】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇七】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇八】気象通報（気象庁のみ）

【四・〇九】気象通報（気象庁のみ）

【四・一〇】気象通報（気象庁のみ）

【四・一一】気象通報（気象庁のみ）

【四・一二】気象通報（気象庁のみ）

【四・一三】気象通報（気象庁のみ）

【四・一四】気象通報（気象庁のみ）

【四・一五】気象通報（気象庁のみ）

【四・一六】気象通報（気象庁のみ）

【四・一七】気象通報（気象庁のみ）

【四・一八】気象通報（気象庁のみ）

【四・一九】気象通報（気象庁のみ）

【四・二〇】気象通報（気象庁のみ）

【四・二一】気象通報（気象庁のみ）

【四・二二】気象通報（気象庁のみ）

【四・二三】気象通報（気象庁のみ）

【四・二四】気象通報（気象庁のみ）

【四・二五】気象通報（気象庁のみ）

【四・二六】気象通報（気象庁のみ）

【四・二七】気象通報（気象庁のみ）

【四・二八】気象通報（気象庁のみ）

【四・二九】気象通報（気象庁のみ）

【四・三〇】気象通報（気象庁のみ）

【四・三一】気象通報（気象庁のみ）

賀正

素の味

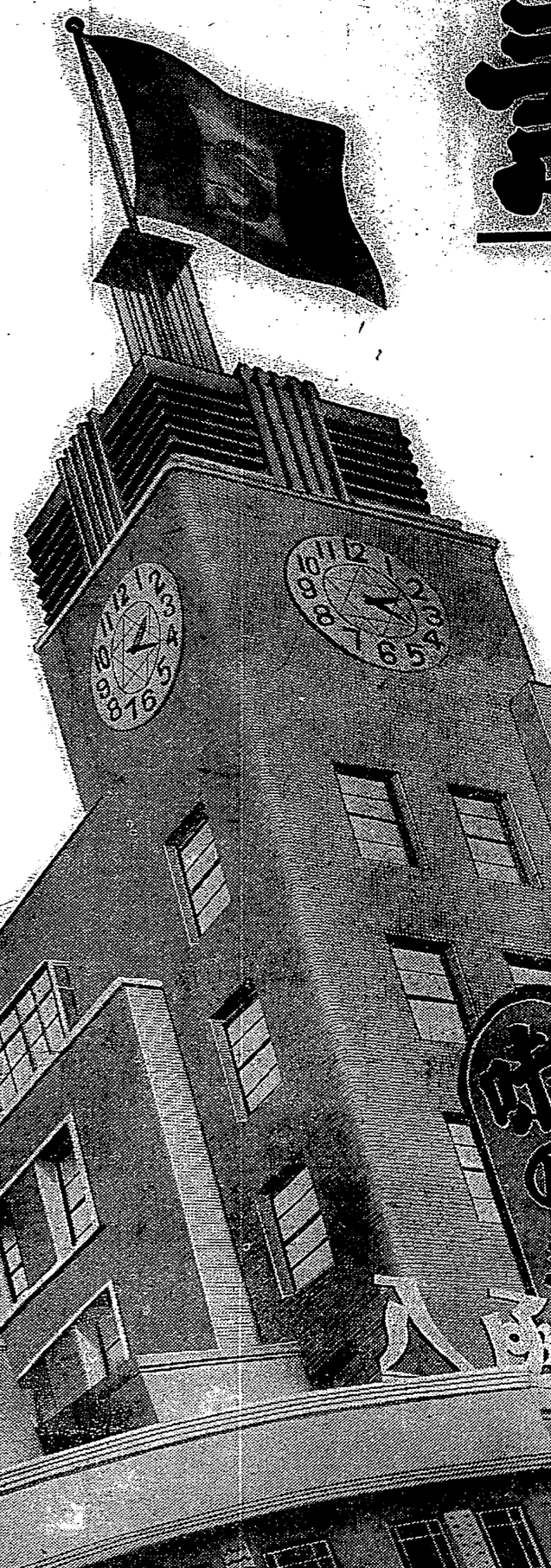
(登録商標)

全日本を貫く
味の素奉仕陣

新春に當り
日頃の御愛
用に報ゆる
一層の奉仕
を期す！

登録商標 味の素

世界に比類なき歴史
と科學とを誇る製品



宮内省御用達　味の素本舗　株式會社　鈴木商店

東京　大阪　名古屋　廣島　福岡　京城　北海道　本斗　大連　天津　青島　上海　新嘉坡　紐育

進り來る第二次世界大戰の特徴

恐るべき兵器の機械化
戰線と國内の區別は撤廢

猪俣津南雄

◇

私は半年ばかり前に、當時の狀勢が切迫して居つて、上海越しに四、五回、東清沿線や東北の各地を歩いて見たが、行く先々で必ず戰爭がわれることが、つきまとつた。それは戰爭はあるであらうかも知れないでせうか、といふ質問であつた。

ともかくそれくらゐまでに戰爭のことを考へねばならなくなつてゐる。

戰爭といふと、どんなことになるのだらう、——かういふ質問もおのづから起つてくる。私は、今年の頭の感じとして日露戰爭の時のことを聯想してゐるが、今度ある戰爭はあゝいふのとは大分違ふだらう、といふ點が第一に問題になる。

何よりも先づ戰爭に用ふる兵器が、變化した。一口に言へば兩者の間に、すでに一世代の差異があるといつてよい。次の戰爭には、飛行機が現はれて一つの新しい役を演ずることになる。

兵器として、又輸送機關として自動車が活躍する結果、戰爭は恐ろしく廣大なものとなる。ところがまた自動車どころの騷ぎではない。次の戰爭には、飛行機が現はれて一つの新しい役を演ずることになる。

歐洲大戰ではまだ大した仕事はしなかつた飛行機が、今では怖るべき兵器になつた。その武裝と攻撃力、その活動範圍に驚異の目を瞠らざるを得ない。

年間に更に非常に發達し普及した。例へば、佛國西の歩兵一師團の機關銃戰鬪力の七割は機關銃が占めるといふやうな有樣だ。じかも命中率はずつと容易になり、命中率も著しくよくなつてゐる。此頃では、ピストル機關銃なども出來てゐる。

大砲もそういうことになつてゐる。歐洲戰爭のヴエルダンの役には、ドイツ軍だけでも、戰線一キロ毎に二十四門餘百二十六門の大砲が配置を敷いてゐた勘定だ。そして發射された砲彈の數はといふと、二週間で四百萬發にのぼつた。日平均二十九萬發も撃つたわけである。

神代

柳原燁子

多なから梅の香もほころび初春をまつわが部屋のうちいづる日もけさは神代のこころして人間の邪ふと謂れたりこの年のいまを初めと吹く風に門の松竹さやぐ音する

そゝり立つ問つけやきに初春の空のしづかに動くめでたさ去年の夜はあけて今年をたましひの道に樂より寂車の炎る

以上のやうな機關銃と大砲のことを考へただけでも、次の戰爭における相互の攻撃の效果が如何に大體的であるかがわかる。從つて戰場の光景が如何に物凄いものであるかもわかる。それに比べれば日露戰爭などは低調とみなすうなものだつたと言つても大した言ひ過ぎではない。

なほ、空襲より重い爆彈が空へ傾斜して行くといふ點取だ。——井戸へ爆彈を投込んだり、破壞で穴から噴し出したりする戰法は、人は大昔のことだとばかり思つてゐたが。

露西亞もいろ〳〵ある。吸ひ込んだ時の毒瓦斯の儘で死ぬ瓦斯がある。色も臭もなく、中毒してもわからず動き廻つてからばかりとやられるガスもある。黃物や粉子や粒にくつついてその人間の行く先々へ毒を傳染させるガスもある。

どこの國でも、戰爭の翼に對する防禦の方法を一生懸命研究したが、結局、防禦は到底し切れないといふ結論に到達した。そこで前のイギリス勞働內閣の統一大臣はかう言つた「ロンドンの空中攻撃に對する唯一の防禦は、ロンドンの即時明渡しと、敵の請都市や港や重要な地點の容赦なき破壞である」

で、つまりは攻撃のやりつこである。

だが、さうなれば、戰爭といふものと、內地といふものとの區別は殆どなくなるのだ。

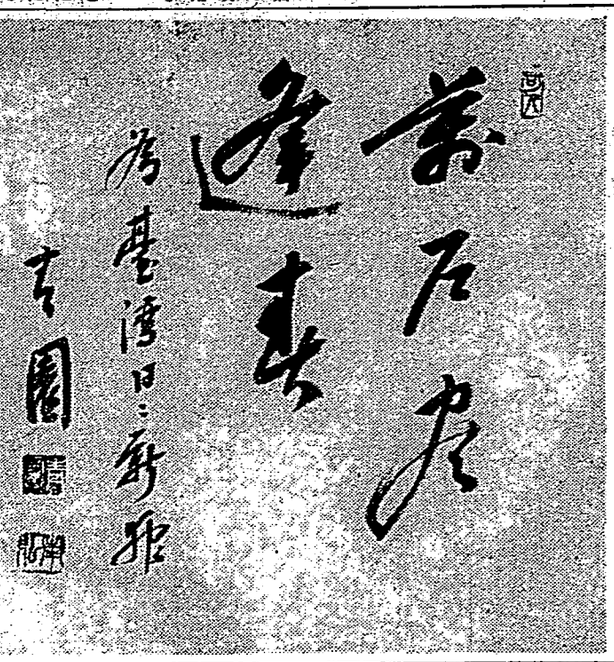
國家總動員で戰ふんだといふか文明の今日ではもう戰爭のやうな男はゐないから、經濟封鎖を強ひ位の要領も勿論製るだらう。歐州から若いもは出拂ひ、肥料は足らずといふやうなことで、今年は「凶作」だなどとその時になつて騒ぎ出しても始まるまい。どこの國でも今度の戰爭をやるつもりならせめて動勞消火衆の食ふ物の單位は眞と考慮しておくことだ。

二千萬人といふ日本の內地總人口のざつと半分だが、それだけの人間をどうして戰場で働かすやうになつたかといふと、これも機械化のせいである。早い話が、日露戰爭で何萬發といふ馬がやつてゐたことを、歐洲大戰では自動車が代つてやるやうになつた。この自動車のやる仕事がまた馬などの到底及びもつかぬものである。ほんの一例だが、獨逸軍がルーマニア遠征をした時は、三十萬の大部隊を二萬臺の自動車で迅速に輸送した。佛國西部から二週間のうちに歩兵三十二個師團、砲兵四十六部隊を自動車でエーヌへ送つてゐるさういふわけで、戰爭の終り頃には、交戰諸國の車を通して、三十萬臺の自動車が動いてゐたといふ。

だが、これもまだ二十年前の昔話に過ぎなくなつた。大正四年頃には、世界中の自動車の數が二百萬臺位しかなかつたのに、昭和四年にはそれが三千萬臺になつてゐる。そして少くともその三分の二の二千萬臺以上は軍事的に利用し得るものである。おまけにスピードその他の何から何まで自動車はめざましい發達を遂げてゐる。

で、近來の各國軍隊は、擧つて自動車の兵器化をやつてゐる。そしてまた戰略上の自動車化をやることに夢中である。だから、次の戰爭における地上の戰爭を見透すならば「自動車の戰爭」といひ度いほどの光景が見られるに違ひない。

自動車の兵器化から、物凄い戰車の出現となつた。重量七十噸の戰艦兵用の巨大戰車、突破に際の角裝置があつて歩兵が五十人も乘れる戰車、こんなのにも「輕い域」である。さうかと思ふと、密雲の中に隱れて敵陣をかき乱して出來る。そんな裝甲自動車に



萬里の長城は無言の藝術

南弘氏の試筆

新刊紹介

◆日本の水（三版出來）　日本の風光が絕佳なることは等しく諸外人の嘆賞するところであるが、しかし明媚ならしめる所以の根據には幅ほる偉大な水のリを看破して居る人は少い。殊に日本の水、山に湧くもの、谷に流るるもの、野に湛るもの、その質極もよく、その味甚も美なる點實に至つては外人のみならず日本人さへも殆り知つてはゐない。これを遺憾として著者は過去十數年水の調査をなし、遂に日本の水こそ世界第一であるの斷言を得て發々實しい水の世界を、地勢、味覺、工業各方面より科學的に紹介したものである（發行所東京日本橋區通三丁目丸善株式會社　定價二圓送料十錢）

◆空手研究（空手研究社編　五年間實に研究に研究して來た空手道に就いて各種各樣の角度から各大學各手部員が總力の方面より紹介したものである（發行所東京市麻布區飯倉片町一〇號武德會內　定價一圓二十錢）

◆空手研究（空手研究社編　五年間實に研究に研究して來た空手道に就いて各種各樣の角度から各大學各手部員が總力の方面より紹介したものである（發行所東京市麻布區飯倉片町一〇號武德會內　定價一圓二十錢）

雜誌紹介

◆南方土俗（三ノ二）　昆來の寫眞第一回（一）ブヌン、ツオウ兩族の親族名稱（鴨兒東一）の二論文、寫眞の土俗並に出來事太平洋戰爭八里ヒアトラン石器時代遺跡（西村眞次）等の資料報告を收めてゐる（發行所東京市本鄕區春木町內南方土俗學會）

◆基督の友（三月號）　人類平等への聖戰、大同一致には何でやる、の眞理、白人優越の迷信を論ぜる、黃色アジア人種の覺醒を促す、等アジア人種の覺醒を促す、等アジア人種の覺醒を促す、等

新春隨筆

東洋獨自の藝術
書道の華

田山信郎

書道というのは、書を一つの藝術として研究し、實行するものであって、日本に發達した特殊の藝術である。現代は書道が殆んど衰微の時代であるが、然し書道には、やはり書道獨自の價値があって、決して滅びるものではない。

×　×

書は支那が本家で、日本では漢文字が支那から輸入された時から始まる。然し眞に日本の書道の元祖と云うべきは弘法大師を以て嚆矢とする。弘法大師は支那に渡って書を研究し、尚ふるいものを殘らず集めて歸朝したが、彼の書風は大膽奔放で而もその中に和風を加味してある。それまでの支那風をそのままに受けついだ書に對してリットとでも言おうか。之を日本書道の歴史から云えば大師以前の奈良朝の風を受けて而も後に來る平安朝の風をも現はせるのは面白いものである。

×　×

大師の時代には外に嵯峨天皇、橘逸勢の能書家があって"世に三筆と言う。宗良朝時代の能書家としては、光明皇后などもかなで綴ってるものには行成卿の和漢朗詠集、眞蹟集、古今集、三十六人撰などがあり、大抵斷片で綴ってるのでこれを古筆切れと呼んでる。二十六人の古筆切れなど一枚でも一萬圓もするのである。

×　×

下って藤原の忠通、藤面俯正などが著れ、更に下って後鳥羽院、その皇子の定家卿などが出た。定家卿のものは土佐日記に續ってるものが定家の字は可成風變りなつまり個性を強く表はしたる字である。この人は親の後成に大變苦勞をかけた書家で、それが書に表はれてる氣分が本位の自由奔放なものであるが、風格は究ってる。然し後世家人には大變尊ばれたものである。

×　×

この時代は文化の絶頂たる時代であったから、書も單に文字のみでなく、用紙や作法にもすべて意匠を凝らしたり、料紙に金銀で模様を描くとか、一字二字ずつ三字を書き續に一幅纏めるとか、或は一字を終へる度に必ず筆を呼んで筆を洗うとか、しまひには料紙でさへ金紙に銀紙を引いて書いたり、時代と共に益々複雑になった。文字の巧拙の他に料紙の美を併せ觀賞したのである。右大臣實氏などと大變こつたものを使ってるる。かうしたことは一見、俗流の眼なる實際とも見えやうが、然し當時はさう云ふつもりでなく一般にそれが好もしい一つの生活態度とされてゐたのである。道長は書もうまいものでしたが一時代の人物として、赤染衛門なども推賞してゐる。

×　×

江戸時代になって流儀流派と云ふ人が出たが、この人は世間流儀の第一者であろう。それより以前、吉野朝時代に御門跡王が現はれ大變流麗な書風であったが、これをお家流と稱し、江戸時代には上流を風靡してゐたのである。これが殿上に採用の初にばかり走るやうになってゐるに對し、學問はあらゆる古蹟を研究して唐風の書體を復興したのである。

×　×

最後に强調したいのは、我が國では歴代の天皇が書を愛され、且つよくされた事である。二條に後へられる後醍醐天皇は申すまでもなく、光明皇后、後白河上皇、聖武、天皇、後醍醐天皇などと時にすぐれた書家であらせられたが、そのいづれもがいかにも大らかな品格の高い書風であることが感ぜられるのである。

能面の話

……日本婦人の表情……

小泉秀雄

日本の婦人に表情に乏しいと云ふ事をきくけれども、それは西洋婦人に比較して感情にこそ乏しけれ、感情が固くなったり、同じ固さでも弘法大師のたりとは又ちがふ。獲物を持ってゐる。やはり禪宗の教義の外國のそれと比較されるために良い點もある又固有の美點も認められる事もある。日本婦人の表情を發揮だなどと云ふ事も、その固有の氣の佳さを認めての言葉だと思ふ。

日本婦人の社會も國際的となって交生活樣式も變って來てゐるから、そこに良い點も缺點かなければならない點は當然とある。現代には現代に對する表情美、動作美が生れるべきで、時代に添はない表情動作は醜く出來かねる次第である。

表情に感情が內面に及ぼす反應に應じ心的技巧と言ふ事が加はったもので、人種、性、老若の差異等の如何に依って相當の差異の生じるものである。表情は元來無意識的のものであるけれども、意識物になるしたがって意識的となり、意思に依って靜止されたり、抑制されたりする。そしてばく同じ表情ぶりかへすと、顏面にその表情の形が殘像にはその表情がその人の相となってしまふ又表情はただ顏面のみに現はれるのでなく、動作にも現はれる。

能面に表れた女人の顏

以前「解放」誌上で能川壽郎氏が、日本美人の缺所として、表情美、動作美が缺けてゐる、その理由は歌舞伎の禁止であって我が國に女優の跳梁が充分に許されてゐた時代と比較して日本以上に日本的であって、ただ單に面としての價値だけでも世界最高の傑作である。今日我々がそれを見ても數百年前に製られたものとは受取れぬ程、新しい力強い魅力を持ってゐる。そしてその顏の色は、今日の化粧と相通じた點を見出すのである。位の低い役女の面は色を白く幅い染みのない感じを出してゐる一曲の主役となる位の人の面は粉が小麥色を帶びた白さに化粧されてゐる。今日小麥色の色調の白粉を以って化粧するのが新しい人の間に行はれてゐるが、數百年前にもこの化粧法は、面に用ゐられてゐたのである

……

今や西歐の藝術は行つまりを來たし、一時はニグロの藝術をさへ取入れたのであるが、遂にその心眼は幽玄なる東洋の美に向けられて來たのである。平凡國の新しいものだと認めて眞似てゐる事が、外我々の言にあった事から取られてゐる事が多いのである。能面が世界に誇り得るものである如く、能明なる今日の日本婦人は又世界にすぐれた表情美、動作美を完成さるる能面と相似てゐる事を期待する

醫者と歌詠み

入澤博士の珍歌披露

醫學博士　岡山巖

醫學と藝術とはかけ離れたものであるが醫者仲間には、歌詠みだの、詩人だのが多いのは面白いと思ふ。

醫者の詠ん人で大物は先づ齋藤瀏吉氏、千樹の流れを汲むアララギ派の歌人で、歌も中々いいが、歌人として知られる事久しい。次に小兒科の宇都野さん。この人は俳句の方でも古くからやってゐる。

齋藤瀏氏には細菌の製造法氏があり、自分で作るばかりでなく、歌の批評もやり、フロイドの精神分析學の研究家でもある。

小童井齋醫學博士の氏も新氏、小兒科の竹内醫氏などと相當なものである。竹内氏の歌は自由律と云ふので、歌とみたいな形式である。氏は前田夕暮の弟子で、師の前田氏が歌と醫師同じたについて轉向したのであらう。

これ等の他、短歌雜誌の同人として活躍してゐる醫者となると、數に遠しい程である。これはあまり大きな聲では言へないが、一般歌人の中でも醫學出の人はどうもあまりふるはないやうだ。むしろ法科出に國文學者とりすぐれた歌詠みが多く、一番うまいのは醫者であること先も便宜身のことは醫に行っての話であるが、……

佳醫の頭の入神博士、あの先生も中々の詩人で、歌もやられるが漢詩や隷書は中々堪能なものである。いつだったか「震災詩集」と云ふのを上海から出版された。先生は支那では日本以上に有名である。

ところでこの人間先生から歌を作ったから送ると言ってよこされたので、どんなものが來るかと待ちかまへてゐたに狂ぐ

大牟羅良の喪に伴ふ望み絶えアッシュ、むしゃと淋代

四五のまんぢゅう食ひ子供きスズメノ、オツノ、トマレつて云ふのであった。

版畫と野球

西川滿

わたしは版畫が大好きである。下手の横好きで、たまにはどうかすると、自分から板木を彫ることもあるが、しかし生兵法は大怪我もあるが、しかし生兵法は大怪我の元、自分から、まあまあ觀賞家の立場に安住してゐる。（版畫家なんかやって貧乏の癖があるか）と、よく人が云ふが、それはわたしにもわからない。然し早起きの人に二文の得がある位なら、百文また古來それ程版畫家にして惡い者だらう人がある事を聞いたことがない。事實、わたしの知ってゐる範圍内に於ては版畫家ほどみなさまめぐまれてゐる有閑なるにぶかりである。

現れがあっては到底すぐれた版畫を作ることが出來ないからではあらうが、全く版畫家位日本中でなつかしい存在はまたとない

わけても宇都宮に住する川上澄生氏はわたしの心から尊敬して止まぬ版畫家である。氏が何處で生れ如何なる經歴を踏まれたかはわたしの知るところではない。然しながら、氏のあたたかなる版畫を通して、百年の知己の如き感に打たれるのである。版畫家の氏はわたしは素人で）と稱する程に筆下手されるが、どうしてどうして素人離のよくした得るところではない正しく版畫道の大達である。

その歸かしき藝術「ますけれず、いっは」「愛なリードル」の二書を見ても、通ずるところは全く同じである。一なんぢ、生活に入るその三者こそ、手製作者の理想の世界にあるまいか。……（四月卅日夜）

女流歌壇の明星
今井邦子女史に
頭の養生法を聽く

私共の日常は、相當頭を酷使いたします、たとへば、なに氣なく散歩してゐても決して頭を休めては居りません。自然平素から頭を明朗に保つ事に特に留意して新らしいお藥に對しては殊に注意して試みます。つい先日の事ですが風邪氣で頭痛がいたしますので、此處「はれやか」といふ新藥が方々で賞讃されてゐる由をきゝましてたしかに頭痛がとれて氣分がはれやかになりました。よい新藥の發明される事は私共には實にうれしい事です。

頭腦榮養劑の新發明

誤れる頭痛劑が及ぼす胃腸障害、頭腦惡化の危險

皆さんは日曜、頭痛、神經痛のするとき、齒の痛みの折、氣がふさいでボンヤリした經驗痛みや不快を拂へる藥劑藥として今日まで用ひられて來た頭痛藥の大部分アスピリン類の主成品だといふ事をご存じですか。ピリン系藥品―即ちアスピリンやアンチピリンには熱さましと頭痛鎭痛作用がありますから、なるほど一時頭はすっきりし痛みも遠のくでせう。然しそれはほんの一時のうはべりである腦髓に殘んで載く時間が經過すると大てい痛みがぶり返され、頭が爽やかと澄んでまるで嘘のやうに消えてしまひます。

逆

もどりして來る痛みが多く、ですから、頭痛、神經痛、齒痛、腦髓痛、感冒、疲勞、睡眠不良、ヒステリーなど諸症狀に苦しめられる人は自然藥劑を服する事になり勝ちです。

ところがかうしたピリン系には胃腸を害らす恐ろしい缺點がありますので、連用すると消化器系統が冒され、食慾不振など

命

取りの胃腸病を招き易くなります。

しかいばかりか、そのたびたび服用する藥劑の統計で頭腦まで惡ひ影響を與ふる事が判明されて來ました。

斯んな危險な藥劑を用ひるよりも、頭痛、神經痛、齒痛、腦髓痛、感冒、疲勞、睡眠不良、ヒステリーなどの諸症狀に對して最も安全で、しかも效果的な藥劑はないかと研究されてゐるのは過去十數年といふ外ありませんが、今度日獨醫化學研究所で發明された「はれやか」は頭痛、神經痛、齒痛、腦髓痛、感冒、疲勞、睡眠不良、ヒステリーなどの諸症狀に對して最も安全で、しかも效果的な藥劑として發賣されて、頭が爽やかと澄んでまるで嘘のやうに消えてしまひます。

從來の所謂頭痛藥劑の連用が胃腸を害し如何なる副作用があるかはお判りになつたと思ひますが、更に固有の榮養劑や醫藥を學理的に詳述した小冊子「最新頭腦明快法」をハガキで御申越次第無代進呈致します。

東京芝區三一の七　日獨醫化學研究所

文獻進呈　最新頭腦明快治

川上澄生氏の版畫

その時、兩氏の間にはやさしい川上先生の溫顏が浮かんだらしい。なごやかな會話が二時間は續いた。わたしも負けずに、その會話の間田氏が數次に際同したについて轉向したのであらう。

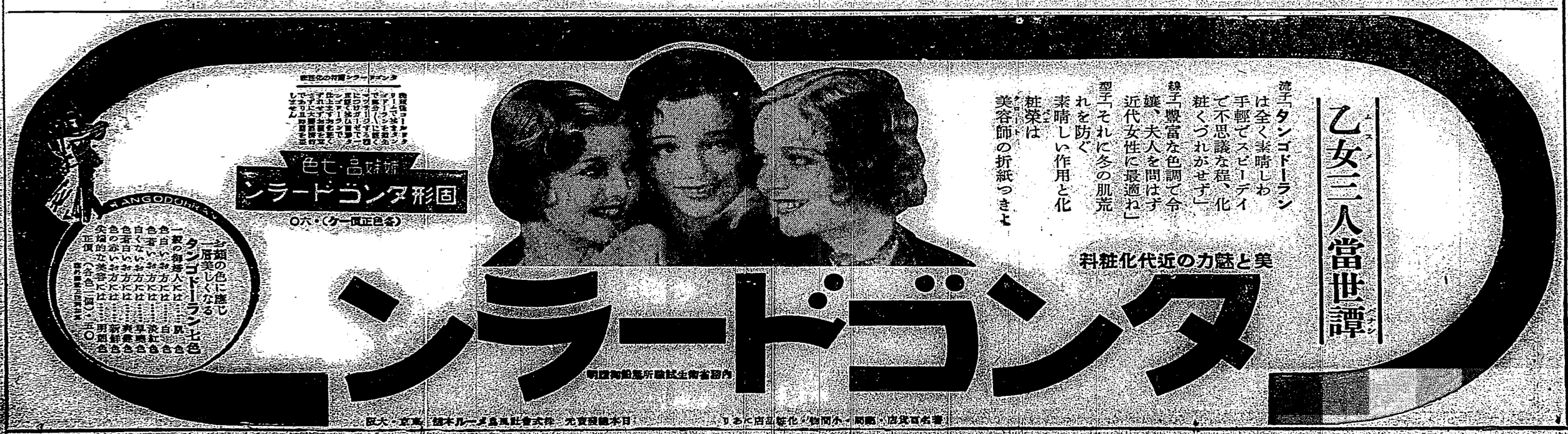
これ等の他、短歌雜誌の同人として活躍してゐる醫者となると、數に遠しい程である。これはあまり大きな聲では言へないが、一般歌人の中でも醫學出の人はどうもあまりふるはないやうだ。むしろ法科出に國文學者とりすぐれた歌詠みが多く、一番うまいのは醫者であること先も便宜身のことは醫に行っての話であるが、……

佳醫の頭の入神博士、あの先生も中々の詩人で、歌もやられるが漢詩や隷書は中々堪能なものである。いつだったか「震災詩集」と云ふのを上海から出版された。先生は支那では日本以上に有名である。

ところでこの人間先生から歌を作ったから送ると言ってよこされたので、どんなものが來るかと待ちかまへてゐたに狂ぐ

大牟羅良の喪に伴ふ望み絶えアッシュ、むしゃと淋代

四五のまんぢゅう食ひ子供きスズメノ、オツノ、トマレつて云ふのであった。

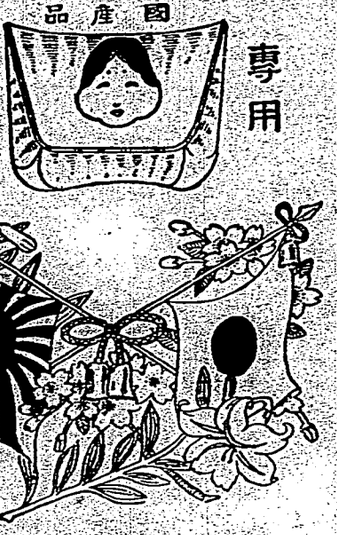

乙女三人當世譚
流子「タンゴドーランは全く素晴しわ手輕でスピーディで不思議な程、化粧くづれがせず」
綠子「豐富な色調で令孃、夫人を問はず近代女性に最適れ」
型子「それに冬の肌荒れを防ぐ素晴しい作用と化粧榮は美容師の折紙つきよ
科粧化代近の力魅と美
タンゴドーラン
明立衛生試驗所認可
固形シラードゴンタ
色七・各姉妹
〇六・(ケー眞正色各)
一度の御使用で
タンゴドーラン七色
一層美しくなる
一、肌色
色白い方には……白色
色白くない方には……淡紅色
色白くない方には……早興色
色白くない方には……新鮮色
色白くない方には……明朗色
一、顏の色に應じ
一、各種の赤いお方には……
一、各色一圓〇五〇
一、各色一圓〇五〇
一、各色一圓〇五〇

廣告

大阪 東京 旭商店街

三福最上洋蠟燭

専用　品質　商標



◉三福印は乾物店、乾物店、雜貨店、化粧品店到る所に販賣す

◉曲らず火もち永く持つ品質優良の三福印

MANUFACTURED BY
MIFUKU CANDLES
FACTORY
OSAKA JAPAN

山路商店
大阪北區堂心町二丁目

帳簿用革
椅子張用革
鞄袋物用革
内外諸革
原料商

大阪市南區竹屋町五〇

前川勝藏商店

電話 南75 四七五二番
振替 大阪 三八〇〇二番

エム羽根印
シンヤツ
カラー
製造卸

洋裝附屬
雜貨問屋

箕浦亮商店

カタログ贈呈

大阪市南區
瓦屋町四番町

電話 南五四二〇番
振替大阪三四六二〇番

明治神宮體育會卓球會指定
臺灣卓球聯盟公認
大日本卓球聯盟指定公認
日本卓球協會主催
全日本卓球選手權大會
日本關西卓球爭覇戰
關西日本代表卓球選手權決定試合
東日本及西日本卓球大會使用球

臺灣總代理店　臺日社運動用品部

TY卓球ボール

製造元

八木松運動具店

大阪市島之内十大町筋西區

ラケット・フット
ボール用具
オリンピック用具
ピンポン用具
製造元

婦人
小間物問屋

（呈進クロタカ）

大阪市東區南久宝寺町二丁目四十七番地

山下庄藏商店

電話船場一四九五番
振替大阪四四七七番

日本香油
カモ美容ポマード

大阪石津號

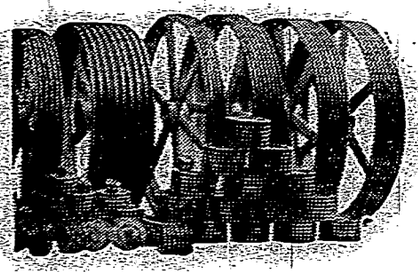
大阪市東區淡路町四丁目
株式會社 大澤商會大阪支店
電話 二七四五・二九八一・二三三
振替大阪第一九六二番

臺灣北 臺南
臺灣一手特約店
臺灣日日新報社運動用品部

因州紙
輸出問屋
合資會社
山野商會

鳥取市智頭街道筋
電話長七二八一番

工場 縣下東伯郡旭村



V形プーリー

近來各方面ニ御採用ヲ蒙リ其有效ナルヲ認識致サレ居候V形ベルトプーリーニ依ル減速並ニ單獨運轉裝置ノ最モ古キ經歷ト實驗ト優秀ナル技術ヲ有スル弊社ニ御用命仰付被下度而シテ貴工場ノ經濟ト能率增進ヲ計ラレ度奉希上候

傳導裝置一式
並ニ高級鑄物一式

大阪市西淀川區佃町

松井鐵工株式會社

電話 土佐堀 三七〇七番
振替口座大阪 二三四三番

TRADE MARK
EAGLE STAR

野球用品・陸上用品・ランニング用品
庭球用品・フットボール・スキー用品
登山用品・ゴルフ用品・スケート用品
卓球用品・運動服裝・各種運動靴

イーグルスター印

シマダ運動具製作所

大阪市外布施町東足代三六六番地

電話 南三一四二番
振替大阪 六七八六七番
受電略號オサカフセ シマダ

世界海運界と我國の立場

大阪商船會社々長　村田省藏

（下）

（承前）　貿易の伸展、更に右米上り停滯的に反自恢復せるハンブルグ、ブレメン兩市が、兩航共同紀律より來る各都市の競爭状態を緩和する緊張も亦考へらるのである、更にこのトラストの内面的事情を察するに、該協約の成立は主として金融資本家の壓迫より來たもので、更に兩航役員間の融和を缺き、關はば初めから机上の理論を主としたる爲め實際に當つて無理があり、其後と雖も、海運業に經驗淺き銀行系代表者が經營の任に當つるのみか本年度の豐作必ずしも期し得ないとせば延いては食糧政策の危機に當面するやもまた測り難い、ところが消費は昨年の如き大豐作民間でさへ上朝を買つたのに大不作なるから局減收入を見込み、其相對する物資に於ても亦減少してをり、從車も昨年に比しては多忙をつづけてをるから局減收入を見込まざるを得ないとみられてゐる

臺北物價　更に微落

財務局金融經濟課の調査による昭和十年十一月中における臺北物價指數は調査品目三十五品中前月に比し騰貴せるもの本島米、鰹節、鰯肥、落花生油の四品、下落せるもの燒酎、小麥粉、砂糖、綿布、洋紙、セメント、石油等八品、その他は保合となつて居り平均指數は大正三年七月、歐洲大戰前の物價を一〇〇として一九八、〇四にして前月に比し一ポイント八五の下落であり、前年同月に比較しては七ポイント五五の騰貴となつてゐる、次に昭和八年一月から同年各月の指數を列記すれば次の如くである

	昭和八年	昭和九年	昭和十年
一月	一九五、七	一九八、七	二〇四、三
二月	一九五、八	一九八、八	二〇四、二
三月	一九五、九	一九八、九	二〇四、一
四月	一九五、九	一九九、一	二〇四、一
五月	一九五、七	一九九、一	二〇四、一
六月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一
七月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一
八月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一
九月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一
十月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一
十一月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一
十二月	一九五、六	一九九、一	二〇四、一

島内郵貯再び

二千萬圓臺へ

前年同期に比すれば
人員で一萬七千六百餘人
金額で百八十四萬圓の增

昭和九年九月以降二千萬圓突破を勿論しつつあつた島内郵便貯金は十一月十三日の七百九十二萬千餘圓を最低として漸く騰貴に轉じ、月末には約四十三萬圓、月末に於ては八百十三萬千餘圓に達し、前年同期に比すれば人員一萬七千四百十四人、金額二千九萬千餘圓の增加を示した、初旬の減少は初年の儲の餘の增加に依るものであり、初旬の增加は實質其他の收入に依る增加したためである、而して例年十二月末現在は前月に比し二百萬圓程度、又發高增加すれば凡そ二百萬圓の增少を見ること

（臺北電話）

自動車聯合會の
ガソリン問題協議

値上は認めるとしても對策の發見までは支拂を延引する

臺灣自動車聯合會では十月中旬九時半から臺北州自動車組合會議室に於て同會を開催、ガソリン問題に關し協議をなしたが、其の内容は次の如くである

臺内各州廳自動車組合會の代表者十四名參集、慎重協議を重ねた結果

今回の値上げは各販賣會社の内地における試賣によつて來つた第手を實するための一手段にして石油專業者實際に於ては内地の見地に出でたものとも思はれるから今まで實質又は僞裝に安く供給した結果により臺灣が一率に上られる事由なく從來通いが國家非常時でもあり、全國から西一率に引上げたのであつて臺灣の實情を參酌し實質的に據り上げ度を決定し一度に今回の引上げは從前でありまた從前の引上げは從前でありまた從前の引上げは從前でありまた從前

◉廣告

疾病撃滅生んだなくべき!!
ベニヤ糊の
間違ひ一郎氏は語る

「ベニヤ板」と言ふ名前は誰でも知つてゐるが、その製造法は一般に知られてゐない。ベニヤ板は、薄く剥いだ木の単板を、奇数枚重ねて、接着剤で貼り合せたものである。接着剤には、普通、蛋白質の膠質を使ふ。膠質は、牛の骨や皮を煮て作るのであるが、これを使ふと、ベニヤ板は、水に浸すと、すぐ剥がれてしまふ。そこで、水に浸しても剥がれないやうに、膠質の代りに、フェノール樹脂を使ふ。フェノール樹脂は、石炭酸とホルマリンとを化合させて作るのであるが、これを使ふと、ベニヤ板は、水に浸しても剥がれないばかりか、火にも強くなる。

ベニヤ板は、箱の蓋や、建具の表面に貼つたり、家具の材料に使はれるが、最近では、飛行機の翼や、胴体にも使はれるやうになつた。

ベニヤ板は、木の薄い単板を、奇数枚重ねて貼り合せたものであるから、木の繊維が、縦横に交錯してゐる。だから、縦にも横にも、強いのである

基隆港に天然痘

對岸から來た支那戎克船員
けさまでには眞性と決定か
當局驚いて大消毒

【基隆電話】十日午後一時對岸福州より基隆に入港した支那戎克船某利號を基隆港務部で檢疫した所、乘組船員福州生れ支那人江福給（卅）に發熱はしき點あり、更に檢疫醫の診斷の結果、午後七時に至り天然痘と斷明、同部檢疫醫では直ちに船員江福給を檢疫病院に收容すると共に同船を他の船舶の碇泊地より引離し、交通を遮斷、更に他の船員十名に對しても檢疫醫を行ふと共に目下同船を大消毒中である、今の所假痘と診斷されてゐるが、眞性の決定を見るは十一日午前九時となる見込み、尙他の船員十名も萬一を慮かつて十一日朝仙洞檢疫所に隔離することとなつてゐる

瑞芳から出北して
眞性流腦と決定
衞生當局の大面喰ひ

【基隆電話】瑞芳に發生した腦脊髓膜炎と決定した、罹病患者を招江病院に移すと共に患者出北後の足取りを北署で調査中

内臺航空の
實施危ぶまる
使用機體の製作に
色々困難があつて

【東京十日發】內臺航空は一昨年以來、月より隔週一回宛もつて臺北三間において連絡運航することに決定、その後の經過は順調であるが、最近に至つて使用機體の製作が困難となつて來たため、同社では目下その對策に腐心中であるが、その實現が危ぶまれるに至つた、即ち、

一、現在使用中の中島製作所に對しドグラス・デー・シー二型機を以て速やかに同社製作の六日乘十馬力を裝備せしめんとするが、折衝では所期の性能を發揮し得るや否や疑問である、

二、同機の主翼を張るアルクラード鋼鐵は製作困難にて外國品を用ゐれば製作費高騰に過ぐ、

三、機體製作組立に對し技術的に困難の點多し、

四、同機の性能維持のため修繕が、例らず同航空當局に使用すべき機體製作に關し次の如き困難あり、その實現が危ぶまれるに至つた、即ち

優勝旗を翳して
北一中選手が凱旋
校長以下多數臺北驛に出迎ふ

甲子園中等野球大會に於て勇ましくも全國中等ラグビー大會に出場した臺北一中チームは各地中學、天理中學を大敗せしめて決勝戰に於て臺北一中と三回三で引分けとなり共に優勝と決定した處、十日午後六時半頃より下り二十名は十日午後六時半頃より下り二十名は臺北驛に到着した、驛には各校校長をはじめ職員生徒約二百名は萬歲萬歲を三唱し、盛んな歡迎振りであつた、尙一中チームの凱旋を聞き傳へた校友會員は、午後三時頃より續々驛に詰掛けチームの凱旋を待ち受けてゐたが、

臺灣博覽會籌備續報

第一會場公會堂至小南門

將集特色于各會場

自公會堂前架設一大陸橋

始政四十周年紀念臺灣博覽會計畫。去九日決議後。即此移入于具體的之準備。其第一會場。以舊北公會堂之大建物爲起點。直至小南門之二線道路。一萬二千坪充之。是地即博覽會所謂主體之處。集特色于各種會場。大場者據定四十三萬人。會期五十日平均一日按一萬人出入。若來町通每日有一萬人擁到。雜免途爲之塞。故就道路各方面。早已改究中。其次視爲問題者。爲此等觀覽者。自公會堂。至祝長官銅像之本町近附。橋以公園。越過憲兵隊側會場兩路。面西門市場。交通最多。故欲架設一大陸橋。占大部分。米慣如是狂騷。土產間日夜調製。如此商慣。內地之採買。乃是空實方面之買塡。若新規買則僅小口而已。目下如此好慣。未曩者。正不可失此良機。陸續雖出。或爲得策也。

臺灣產揮發油價

再加昂二錢五厘

自動車業者開幹部會

臺灣自動車聯合會。開臨時總會。決定將來內地。一牙倫俊然加算六錢。就此撤廢貫徹。于十日午前九時。假臺北部樓上。開聯合會幹部會。將協議善後對策。斯業界重要懸案。乃對販賣者。或經總督府當局。極力運動。關此揮發油運賃加算撤廢。或輕減問題。尙未解決之際。而去三十日。日石臺北販賣店。與商工省所裁定。同時加昇一牙倫三錢九厘。發表自一日實施。爲是。自動車業者。起一大恐慌。而此加昇率。與內地同率。新劃慣四十九錢五厘。比內地依然貴六錢。而對運動中之運賃撤廢問題。全不加考慮。又一牙倫差三錢五厘。以全島一日消費量一萬五千牙倫計之。一日差五百二十圓。一箇月一萬五千七百五十圓。一箇年。一萬九千圓。即一年多支出約二十萬圓。歸自動車業者負擔。然自動車業者。以此二錢五厘。若內地據此。則屬不得已。而臺灣揮發油販賣業者。乃對內地比內地一牙倫昇六錢。甚不合理。聯合會結成以來。爲重要懸案。乃對販賣業者。或經總督府當局。極力運動。關此揮發油運賃加算撤廢。或輕減問題。尙未解決之際。而去三十日。日石臺北販賣店。與商工省所裁定。同時加昇一牙倫三錢九厘。發表自一日實施。爲是。自動車業者。起一大恐慌。而此加昇率。與內地同率。新劃慣四十九錢五厘。比內地依然貴六錢。而對運動中之運賃撤廢問題。全不加考慮。又一牙倫差三錢五厘。以全島一日消費量一萬五千牙倫計之。一日差五百二十圓。一箇月一萬五千七百五十圓。一箇年。一萬九千圓。即一年多支出約二十萬圓。歸自動車業者負擔。然自動車業者。以此二錢五厘。若內地據此。則屬不得已。而臺灣揮發油販賣業者。乃對內地比內地一牙倫昇六錢。甚不合理。聯合會結成以來。爲重要懸案。乃對販賣業者。或經總督府當局。極力運動。關此揮發油運賃加算撤廢。或輕減問題。尙未解決之際。而去三十日。日石臺北販賣店。與商工省所裁定。同時加昇一牙倫三錢九厘。發表自一日實施。爲是。自動車業者。起一大恐慌。而此加昇率。與內地同率。新劃慣四十九錢五厘。比內地依然貴六錢。而對運動中之運賃撤廢問題。全不加考慮。又一牙倫差三錢五厘。以全島一日消費量一萬五千牙倫計之。一日差五百二十圓。一箇月一萬五千七百五十圓。一箇年。一萬九千圓。即一年多支出約二十萬圓。歸自動車業者負擔。然自動車業者。以此二錢五厘。若內地據此。則屬不得已。而

福建全省民軍

欲統一於中央勢力下

開綏靖公署長會議

據九日午後北陸某處接到對岸情報。閩共東路總司令蔣鼎文。自十日起。在漳州。開福建省下綏靖公署長會議。召集各地公署長官。就共會議內容。對共軍編成。及配置。再除去反共軍事。以是共產軍已三潰。中央色彩。欲統一全省。歸于中央之勢力下云。

圓糯米又狂騰

各限十圓二十錢臺

賣派恐慌多已買塡

圓糯米自客臘以來。產地間農民皆滿足欲轉。新竹極力占買。臘底猶保合九州下二等米雖少。查北州下新春米之檢查成績。據查北州米穀商同業組合所調。圓糯米二等居多。惟四五十錢。四日初市以來。產地猶極力占買。地場無積極的賣派。七八日來島勢稍迷。九日後漸先限已突破十圓盤。當中限各迫近十圓。出場後賣派恐慌。當中先限。各起至十圓二十錢臺。十日早朝食利者出。又稍低落。迨入場時。賣派更恐慌買塡。當中先限。各漲至十圓三十錢臺。現出然狂市況。現米商日猶九圓八十五錢。十日忽漲至十圓二十錢。本日在庫五萬餘袋。杉原皆出先限數車。人氣乃稍軟。旁午當限落至十圓十錢。五六錢。午後因期米稍昂又陡而起數錢。時半頃先限十圓二十五六錢。觀早朝已落十三四錢。一月二十日限之十圓二十錢叠。實超過昨當時之十圓零二四錢者。加貢三十錢。親十二月十五六日之九圓叠者。已起一圓三十錢。圓糯。盤若如是猛烈。市場參正式發出。此高價成爲入叠爲大叠。此高價成爲一時的之脫線行情。土專家。認爲緊要。其具體方策。請陳意見。

日濠通商航海條約

十四五日頃締結交涉

大體二月可以臨時簽印

——東北振興調查

初次總會

諮問不振之因

東京十日電。東北振興調查會。十日午前十時二十分。初開總會於首相官邸。岡田首相（會長）敍禮。有欲業朝野有識者。明悉害不振因。茲爲要策之諮。而後說明。諮問事項。各因作地方知事。報告地方實狀。第一日總會以終。其諮問第一號如左。

東北地方不振。其所由來已久。蹙之禍害相尋之現狀。孰由眞因。立策防除災害。增進福祉。

日豪通商航海條約

十四五日頃締結交涉

大體二月可以臨時簽印

——東北振興調查

初次總會

諮問不振之因

東京十日電。從來日本與濠洲間。如無條約狀態。近擬從新締結通商航海條約。外務省。特派通商局長。携原案而往。村井司路兄。總領事。待其到後。愼考對策。大體準備已成。村井總領事。及新納事務官。兩三日中。擬赴首都堪培拉。即自十四、五日頃。與濠洲聯邦政府外務當局。開始交涉。九日有電到外務省報告。該條約締結。想無重大障碍。大體三個月。可以臨時簽印。至於今夏。松平大使。與蔡文外相。可於該條約締結。且後貿易關係調整。我

圓糯米又狂騰

各限十圓二十錢臺

賣派恐慌多已買塡

圓糯米自客臘以來。產地間農民皆滿足欲轉。新竹極力占買。臘底猶保合九州下二等米雖少。查北州下新春米之檢查成績。據查北州米穀商同業組合所調。圓糯米二等居多。惟四五十錢。四日初市以來。產地猶極力占買。地場無積極的賣派。七八日來島勢稍迷。九日後漸先限已突破十圓盤。當中限各迫近十圓。出場後賣派恐慌。當中先限。各起至十圓二十錢臺。十日早朝食利者出。又稍低落。迨入場時。賣派更恐慌買塡。當中先限。各漲至十圓三十錢臺。現出然狂市況。現米商日猶九圓八十五錢。十日忽漲至十圓二十錢。本日在庫五萬餘袋。杉原皆出先限數車。人氣乃稍軟。旁午當限落至十圓十錢。五六錢。午後因期米稍昂又陡而起數錢。時半頃先限十圓二十五六錢。觀早朝已落十三四錢。一月二十日限之十圓二十錢叠。實超過昨當時之十圓零二四錢者。加貢三十錢。親十二月十五六日之九圓叠者。已起一圓三十錢。圓糯。盤若如是猛烈。市場參正式發出。此高價成爲入叠爲大叠。此高價成爲一時的之脫線行情。土專家。認爲緊要。其具體方策。請陳意見。

北洋漁區入札

容我要求

二月廿七執行

東京十日電。本年度北洋漁區入札所開。蘇俄極東漁業局。去十二月二十五日以公文。通告二月二十日競賣之旨。此有違反漁業條約。外務當局與蘇俄折衝。結果容我要求。二月二十七日。實行入札。意見一致云。

山本男訪問

高橋藏相

東京十日電。山本達雄男十日午前十時半。到藏相官邸。訪高橋藏相。先對藏相。遠民政黨方面。對協議會情報。而後關政友會

神武會

來紀元節日

且行解散

東京十日電。我國右翼團體。神武會創立之本旨。在國民運動。不遂目的。余欲解散之。今後別組團體。亦非時期。且余力亦不能也。

竹下知事轉出滿洲

人事異動正式決定

待長岡總長到新京後行之

日新京到任後。聽取日下司政部長之意向。而後實行國府籌以金塊

買入銀塊

以貸出一般

上海十日電。國府當局。

北斗郡教育會

開小公學成績品展

十二三兩日在北斗公講堂

北斗郡教育會。主催郡下小公學校。兒童成績品。展覽會。訂來十二、十三兩日。開於北斗公學校講堂。出品期限。一月八日止。其選奬方法。則委囑審查員。對兒童並職員之優良製品。決授與以賞狀云。

子死姑嚴自縊

北斗郡沙山庄沙山六一六番地。吳姜之女吳氏耳。年二十二。此際以其夫石素助。年二十六。有扶眷吳沙山庄沙山六一六番地。吳姜之女吳氏耳。年二十二。此際以其夫石素助。年二十六。有扶眷及兒女獲傷逝。暴於告訴狀。素助目下不知去向。其處藏匿未能明。據稱素助。於昭和七年一月。入贅吳家爲婿。夫婦相得。戶籍却未正式入戶。至昭和八年一月。其父母訴欲赴拓拓坑帝釜殖綿會。舉家同行。乃直赴屏東郡下。數處爲邑張有田井部長。及乘松巡查僧許秦公醫。到現場檢證。然後許其埋葬。死因聞最近嗚一切子亡故。悲啼不息。其姑頗嚴。於是日受其夫叱責。姜頃死念云。

臺南市營住宅

建築百戶

協議使用條例

臺南市十年度預算。新規事業中。有計上建築市營住宅。將提出于來十五日六移入協議事項如左。

一、貧困者　名簿作　成資料

板橋方委

議募同情袋金

板橋街第九回方面委員事務磋商會。竝助成會。評議員會。去九日午後一時。開於板橋公會堂。有熊谷庶務課長。西江視學。及方面委員助成會。評議會員等。多數列席。首由淀川街長致謹後。吳街助役。介紹新方面委員。後藤東氏。報告昭和九年十一月中方面委員辦理件數。計百十三件。局庭介紹三十三件。戶籍整理三件。保護救療六十六件。其他一件。次

武術納會

豐原

豐原郡警察課。於去二十七日午前九時起。召集郡下警察職員全部。於武術納會式。三年後三時許閉會。

淡水

總會日程

淡水郡下主要產業組合組織會小基隆信組（經代會）。經定日程如左。

▲老梅信購販利組合。二十日

▲八里信購利組合。二十一日

▲淡水信利組合。二十二日

午前十時於淡水學校。

午前十時於淡水學校。二十一日

▲淡水信利組合。二十二日午後一時於淡水公學校講堂。

▲小基隆信購販利組合。二十六日午前九時於三芝庄公會堂。

時評

藏相閣議席上。關於滿洲事件費。有所發言。陸軍方面。亦贊成之。此間滿洲非情。或使之然。然非臺灣地方自治制改正。在拓省及府。均已準備。

臺灣地方自治制改正。在拓省及府。均已準備。不堪其苦。安法良民。多逃度門。孟子以及與政之論。何其切中於現狀也。

○

內外地各方官。互相對調。大可補偏救弊。如竹下知事。轉長關東州。將來臺南通商關係。尤可望圓滿發展